■ 主な仕様

	RA1000用	RA2000用	DL2800用	DCシリーズ用	TS/TH/Hシリーズ用	A/Dカード用	可視カメラ用	CAN用		GPS用		AR1000用
使用可能 機器	RA1100 RA1200 RA1300	RA2300A RA2800A RM1100	DL2800A	DC3100 (*1) DC6100	R300/ TS9100/ TS9230/ TS9260/ TH7100/ TH9100/ TH9260/ H2640(**2)	インタフェー ス社製 CSI-360116	DirectX 対応カメラ	ナショナルイ ンスツルメン ツ社製 NI-CANア ダプタ	NMEA- 0183フォー マット対応 GPS (※3)	パイオニア ナビコム製 GPS-M1ZZ (※4)		AR1100 AR1200 AR1400
インタフェース	Ethernet RS-232C	Ethernet	Ethernet	Ethernet USB	Ethernet IEEE1394 USB	PCMCIA	USB IEEE1394	USB/ PCMCIA/ PCI	RS-232C	RS-232C	RS-232C	Ethernet RS-232C USB
本体接続可能台数	混在可	能でMAX8台	(%6)	6台 (DC3000) 20台 (※11) (DC6000)	4台 (IEEE1394 /USBは1台)	1枚	4台 (※7)	1台	1台	1台	1台	RA2000用 と同じ
遠隔 コントロール	可能	可能	可能	可能	可能					可能 測位制限指定 積算距離リセット		可能
本体収録最高速度		本体に	 C依存		本体に収録機能なし			PC	上収録	1XX1 PP12P7 = 21		
PCリアルタイ ム収録 転送速度設 定範囲※10	(1ms7 1s~1 (1s7	1000ms ステップ) 1000s テップ) そ8)	100μs~1ms (100μsステップ) 1ms~1000ms (1msステップ) 1s~1000s (1sステップ)	100ms~ (DC3000) 10ms~ (DC6000)	Ethernet: 1/2/5/10/20/30Hz IEEE1394: 30/60Hz USB:60Hz	10μs~2s (10μステップ) 最高10μs/ ch	カメラの仕様に依存	ボーレート 50,100,125,200, 250,500,1M	GPSの 仕様に依存	ボーレート 2400,9600	ボーレート 57600	データ収録 機能なし
最大収録 サイズ	PCの指定HDドライブ空き容量の約半分のサイズまで											
リアルタイム データ表示	Y-T・X-Y波形(分割/重ね書き表示)、デジタル表示、FFT波形 (※9)											
再生データ				Y-T・X-Y波	形(分割/重	直ね書き表示)、	デジタル表示	₹、FFT波形				
表示		本体以	収録データ再生	上可能								
再生可能 ファイル	FSD、FPP	. DRT. DAT	ファイル	DATファイル	SVT、SVX ファイル							
再生データのカーソ ル読み取り機能			カー	ソル1、2の読	読み取り値、時	間差、振幅差	、カーソル間	の最大値・最	小値			
演算機能	●チャネル間演算、べき乗、平方根、絶対値、常用対数、指数、1/√2演算、三角関数、移動平均、微分、積分 ●自由演算式(以下の関数を任意に組み合わせた演算が可能) 「正弦、余弦、正接、逆正弦、逆余弦、逆正接、絶対値、指数、自然対数、常用対数、平方根、立方根、1/√2演算、 」演算CH指定、べき乗、1階微分、2階積分、2階積分、2階積分、収録データ参照1、収録データ参照2、移動平均、実効値 ●区間統計演算「平均値、面積(土)、面積(+)、面積(-)、実効値、標準偏差(N)、標準偏差(N−1)]	- - データ再生					
FFT 演算機能	FFT解析種類: リニアスペクトラム、パワースペクトラム、RMSスペクトラム、パワースペクトラム密度 ウィンドウ関数: レクタンギュラ、ハニング、ハミング アベレージ回数: 1~16384 オーバーラップ[0%、25%、50%、75%](アベレージ処理はオフライン時のみ可能) フレームサイズ: 256、512、1024、2048、4096、8192、16384、32768、65536(オンライン時は1024固定)					機能なし						
アラーム機能	設定可能判定値:↑レベル、↓レベル 出力方法:ビープ音、デジタル出力(A/Dカード)、ファイル、熱画像出力(SIT/SIX形式)、可視画像出力(BMP形式) アラーム解除時間を秒で指定可能											
インポート 機能		・るファイルに5ァイルに5ァイル拡張子(
ファイル変換	●変換範[への変換 (J 囲 ポイント指定 ^几 理 単純、最	、時間指定	(μ s, ms, sec			チャネル ズ情報付加		J文字 カンマ ファイル名	(,)、TAB		
収録条件ファイルの保存						任意のファ	イルに可能					•

※1:DC3100はUSB1.0で接続可能です。※2:日本アビオニクス社製。H2640はEthernetまたはIEEE1394付本体のみ接続可能です。※3:収録/表示可能な情報は時刻、緯度、経度、方位、速度、高度、受信衛星数、衛星位置です。※4:ハイオニアモードでの動作となります。収録/表示可能な情報は時刻、緯度、経度、方位、速度、高度、受信衛星数、積算距離です。 ※5:収録/表示可能な情報は時刻、緯度、経度、速度、高度、受信衛星数、傾斜率です。※6:DL2800で100μsステップの収録を行う場合の接続台数はMAX4台が目安です。RA2300などで9台以 上接続する場合はご相談ください。※7:接続可能な台数はカメラに付属しているドライバの性能に依存します。
※8:本体の制約およびパソコンのCPU速度などにより、設定速度で転送できない場合があります。※9:TS/TH/Hシリーズでは、赤外画像も表示可能です。RA1000シリーズ、及びAR1000シリーズではリアルタイムモニタ表示はできません。※10:各種の機器が混在する場合、最高収録速度は1msになります。※11:最大1200chまで接続可能です。

■ 動作環境

CPU	2GHz以上推奨
メモリ	512MB以上(可視カメラ、赤外カメラ使用時、vista使用時は1024MB以上推奨)
HD 空き容量	プログラム領域約10MB必要 その他にデータ格納領域が必要 収録データファイルの再大容量はHD空き容量の約1/2を目安にしてください。
USB ポート	USB2.0
ディスプレイ	1024×768 ピクセル以上
OS	Windows2000(SP4以上)/WindowsXP(SP2以上) WindowsVista(Business,Ultimate)/Windows7 32ビットのみ(Ultimate,Professional,Home Premium)

■ 価格

ベースソフトウェア

品 名	形 式 名	規格	標準価格(税抜)	備考
ユニファイザ (Unifizer) 本体	NS3000	基本ソフトウェア	¥80,000	

※ユニファイザ本体にはドライバ、コンバータは含まれていません。

オンラインでは、各使用装置の共通ドライバ・使用装置用ドライバが必要となります。オンライン機能にはコンバータ機能が含まれます。 オフラインでは、各使用装置用コンバータが必要となります。

データアクイジション (DAQ) 用ドライバ

品 名	形式名	規格	標準価格(税抜)	備考
DAQ 用共通ドライバ	NS31-719	下記の機種用ドライバとの組み合わせとなります。	¥98,000	
RA2000/RM1100 用ドライバ	NS31-710		¥20,000	NS31-719 必須
RA1000 用共通ドライバ	NS31-711		¥20,000	NS31-719 必須
DL2800 用共通ドライバ	NS31-712		¥20,000	NS31-719 必須

※オンラインでの使用時は、NS3000 + NS31-719 +機種用ドライバ(NS31-710/711/712)の組み合わせとなります。

リモートアンプ用ドライバ

品名	形 式 名	規格	標準価格(税抜)	備考
リモートアンプ用共通ドライバ	NS31-739	下記の機種用ドライバとの組み合わせとなります。	¥12,000	
AR1000 用ドライバ	NS31-730		¥12,000	NS31-739 必須

※オンラインでの使用時は、NS3000 + NS31-739 + NS31-730 の組み合わせとなります。

赤外放射温度計用ドライバ(日本アビオニクス社製)

品 名	形式名	規格	標準価格(税抜)	備考
赤外用共通ドライバ	NS31-759	下記の機種用ドライバとの組み合わせとなります。	¥98,000	
R300/TS/TH320 用ドライバ	NS31-750		¥20,000	NS31-759 必須
TS/TH640 用ドライバ	NS31-751		¥20,000	NS31-759 必須

※オンラインでの使用時は、NS3000 + NS31-759 + NS31-750/751 の組み合わせとなります。

A/Dボード用ドライバ

品 名	形 式 名	規格	標準価格(税抜)	備考
A/D ボード共通ドライバ	NS31-729	下記の機種用ドライバとの組み合わせとなります。	¥60,000	
ADM677 用ドライバ	NS31-720		¥26,000	NS31-729 必須
ACSI-360116 用ドライバ	NS31-721		¥26,000	NS31-729 必須

※オンラインでの使用時は、NS3000 + NS31-729 + NS31-720 もしくは NS3000 + NS31-729 + NS31-721 の組み合わせとなります。

スキャナ用ドライバ

品 名	形式名	規格	標準価格(税抜)	備考
スキャナ共通ドライバ	NS31-749	下記の機種用ドライバとの組み合わせとなります。	¥24,000	
DC 用ドライバ	NS31-740		¥16,000	NS31-749 必須

※オンラインでの使用時は、NS3000 + NS31-749 + NS31-740 の組み合わせとなります。

コンバータ

品 名	形 式 名	規 格	標準価格(税抜)	備	考			
DAQ 用オフラインコンバータ	NS32-710	RM1100/RA2000/RA1000/DL2800 用	¥18,000					
赤外用オフラインコンバータ	NS32-750	R300/TH9100/TH9260/TS9100/TS9230/TS9260/H2640	¥18,000					
可視カメラ用オフラインコンバータ	NS32-755	AVI 再生用	¥6,000					
スキャナ用オフラインコンバータ	NS32-740	DC用	¥12,000					
※オフラインでの使用時は、NS3000 + #	※オフラインでの使用時は、NS3000 +機種用コンバータ(NS32-710/755/740)の組み合わせとなります。							

可視カメラ用ドライバ

品 名	形 式 名	規格	標準価格(税抜)	備考
可視カメラ用共通ドライバ	NS31-758	下記の機種用ドライバとの組み合わせとなります。	¥12,000	
可視カメラ用ドライバ	NS31-755	DirectX 仕様のカメラに対応(USB/IEEE1394)	¥12,000	NS31-758 必須

※オンラインでの使用時は、NS3000 + NS31-758 + NS31-755 の組み合わせとなります。

CAN/NAVI用ドライバ

品 名	形式名	規格	標準価格(税抜)	備考
CAN 用共通ドライバ	NS31-779	下記の機種用ドライバとの組み合わせとなります。	¥98,000	
NI-CAN 用ドライバ	NS31-770		¥20,000	NS31-779 必須
NAVI 用共通ドライバ	NS31-769	下記の機種用ドライバとの組み合わせとなります。	¥48,000	
NMEA-GPS 用ドライバ	NS31-760	GPS を使用する場合必要になります。	¥12,000	NS31-769 必須

※オンラインでの使用時は、NS3000 + NS31-779 + NS31-770、NS3000 + NS31-769 + NS31-760 の組み合わせとなります。

ADstエーアンド・デイ

■札幌出張所 TEL.011-251-2753(代) FAX.011-251-2759 ■仙台出張所 TEL.022-211-8051(代) FAX.022-211-8052 ■ 宇都宮営業所 TEL.028-610-0377(代) FAX.028-633-2166 ■東京北営業所 TEL.048-592-3111(代) FAX.048-592-3117 ■東京南営業所 TEL.045-476-5231(代) FAX.045-476-5232

http://www.aandd.co.jp

本カタログ掲載製品の総販売元

川 三栄インスツルメンツ株式会社 東京本社 TEL.03-5957-1541(代) FAX.03-5957-1521

大阪営業所 TEL.06-6397-5450(代) FAX.06-6397-5451 名古屋営業所 TEL.052-777-7730(代) FAX.052-777-7740

● ご使用の際は、取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。 ※ 外観及び仕様は改良のため、お断りなく変更することがあります。

●本カタログの内容は 2015年 7月 現在のものです。 NS3000-AVIOJC-01-AA1-15604

計測器統合制御ソフトウェア ユニファイザ(Unifizer) NS3000シリーズ



機器の設定・データ収録の リモートコントロール、演算・解析処理に!



ユニファイザ NS3000 シリーズは、当社計測器(データアクイジション装置・アンプ) を Ethernet 環境などで接続し、機器の設定・データ収録のリモートコントロール、 演算・解析処理が行えます。



◆ 制御機能

各種インタフェースにより、当社計測器(データアクイジション装置・アンプ・赤外線熱画像装置)の遠隔操作や当社指定の AD ボード(カード)、Direct X 対応の可視カメラを制御できます。

◆ 各種演算・FFT 解析機能

リアルタイム収録時および収録後のデータに対して四則演算 や各種関数演算および FFT 解析が行えます。

◆ カスタム画面

表示エリアにデジタルデータ、Y-T グラフ、X-Y グラフとカメ ラ画像などを自由にレイアウトできます。

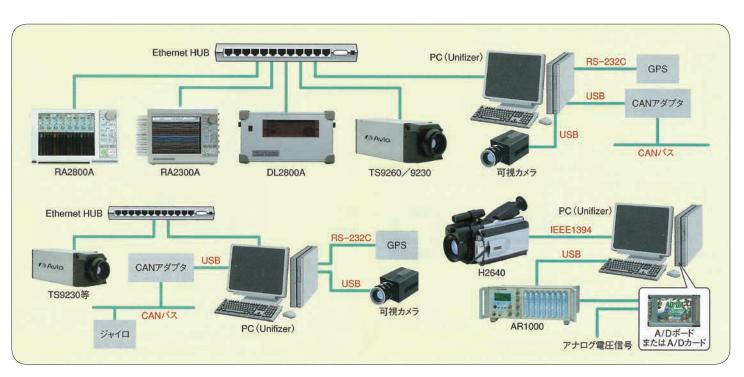
◆ レポート作成/簡単プリント機能

表示画面にコメントや矢印を自由に記入でき、表示イメージのままレポートとして印刷できます。

◆ CAN・GPS デバイスに対応

CAN バスのデータをモニタリング、収録および GPS 機器からの 位置情報などのデータを取り込むことができます。





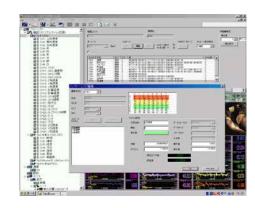
■ 概 要

CAN データの収録

CAN アダプタ(USB/PCI/PCMCIA) により CAN バスのデータを収録することができます。

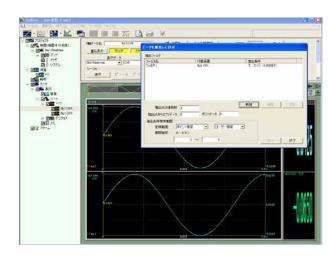
CANに関する以下の機能があります。

- ①CAN 2.0A/2.0B (標準/拡張フォーマット) ISO 11898-2準拠
- ②メッセージの追加・削除・編集
- ③ CAN データベース(* .dbc, * .ndc)読み込み



データ抽出機能

収録後のデータを抽出条件に従って必要な部分のファイルを 抜き出すことが可能です。



Google Earth 対応

GPS の緯度、経度データを Google Earth 用ファイル(kml)に変換可能です。

ユニファイザでGPSデータを取得





アラーム機能

入力 CH 信号に対してアラーム条件を設定できます。アラーム発生時にビープ音を鳴らす、画像 BMP ファイル(可視カメラ接続時)を作成する、熱画像ファイル(SIT,SIX 形式、赤外カメラ接続時)を作成するなどができます。



カスタム画面構成

表示エリアには、Y-Tシート、X-Yシート、デジタルシートおよびカメラ画像を自由にレイアウトすることが可能です。また、各シートは透過率を設定することができます。



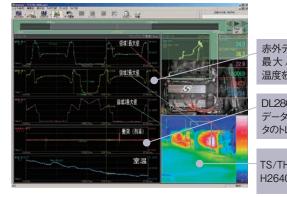
透過率設定:シートが重なっていた場合、上に重なるシートを透過させる ことにより、背景にあるシートを見える様にします。

赤外線熱画像装置 (R300/TS/THシリーズ、H2640) との接続

赤外画像の領域指定を行うと、その領域内の最大/最小/平均温度がトレンドデータとして扱えます。

トレンドデータは Y-T / X-Y / デジタルシートに表示できます。 (日本アビオニクス社 製)

Ethernet 回線を経由して赤外線熱画像装置とデータアクイジション装置およびアンプを同時制御可能



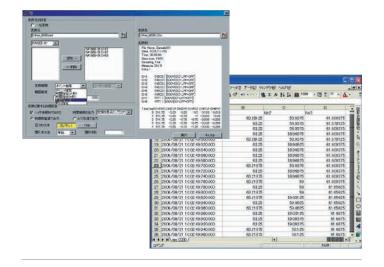
赤外データ領域内の 最大/最小/平均 温度をトレンド表示

DL2800 の ひ ず み データ及び温度デー タのトレンド表示

TS/TH シリーズ、 H2640 の赤外画像

データ変換機能

収録したデータを CSV ファイルに変換することができます。 変換する範囲を、サンプリングポイント指定、時刻指定やカー ソル間指定で行うことが可能です。



レポート作成機能

研究・開発の現場では、測定された信号波形から数値を読み取り、実験・研究の重要データを導き出しますが、ユニファイザでは、グラフ上に表示されたデータの任意の位置に"カーソル AB間の時間差"、"カーソル AB間の最大値・最小値"、"カーソル読み値"を表示できます。このシートを印刷することによりそのまま実験レポートとして活用できます。



GPS データの収録

NMEA-0183 準拠の GPS 機器からの GPS データの収録が可能です。

地図ソフト(アルプス社製プロアトラス SV シリーズ)をインストールすることでリアルタイムに地図上で位置を表示することができます。



各種演算& FFT 解析

リアルタイム収録時および収録後のデータに対して四則演算 や各種関数演算および FFT 解析が行えます。

■各種演算種類

①係数入力演算 CH 間や係数と四則演 算、ベキ乗、平方根、絶 対値、対数、指数、微積

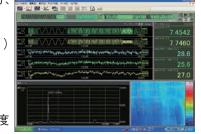
②演算式自由入力演算 三角関数、絶対値、指数、 対数、平方根、微積分、 移動平均等

③リアルタイム演算 (積分、移動平均を除く

■ FFT 解析種類 ①パワースペクトラム

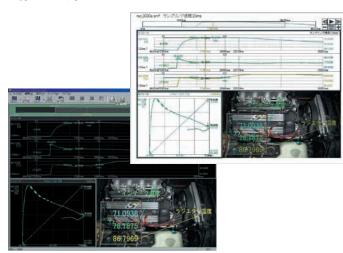
- ①パワースペクトラム②リニアスペクトラム
- ③ RMS スペクトラム ④パワースペクトラム密度





簡単プリント機能

表示画面のイメージがそのままレポートとして印刷できます。
Y-T シート、X-Y シート及びデジタルシートの背景は白色で印刷されます。



インポート機能

2 台以上のレコーダで別々に収録した 2 つ以上のファイルを後から結合することができます。また、同一条件で収録した複数のデータファイルを後から 1 つのファイル結合することで過去と現在の信号比較を同一グラフ上で行うことが可能です。CSV 型式のファイルも読み込むことが可能です。

